大垣信金、未然に詐欺防ぐ



感謝状を受け取った大垣信用金庫の3支店の職員ら＝大垣署

大垣署が3支店に感謝状

振り込め詐欺などの被害を未然に防いだとして大垣署は、大垣信用金庫の赤坂、荒尾、笠縫支店に署長感謝状を贈った。

赤坂支店では8月29日、70代女性が270万円を引き出そうとした。窓口の高橋和美さん(40)が理由を尋ねると、「取引先の小切手が入ったかばんが置き引きに遭い、すぐにお金が必要と息子から連絡があった」と話したため、不審に思った高橋さんが上司に報告。被害を防いだ。

荒尾支店では同日、60代女性が80万円を振り込もうとしたが、示談金を要求する詐欺と判明。笠縫支店では今月4日、名義貸し名目の詐欺を防止した。

署を訪れたのは、赤坂支店の川瀬敏幸支店長と高橋さん、荒尾支店の窪田茂樹支店長と中村知郎さん、笠縫支店の木下英範支店長と浅野ルミさんの6人。被害を防止し、顧客から感謝されたという。（佐名妙予）

無断複製・転載を禁じます